

2012年2月14日

各 位

会 社 名 朝日インテック株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮田 昌彦
(東証第二部・名証第二部・JASDAQ コード番号：7747)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 竹 内 謙 次
(TEL. 052-768-1211)

特別利益及び特別損失の計上と 2012年6月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績の差異及び 通期業績予想(連結)の修正に関するお知らせ

2012年6月期第2四半期において特別利益・特別損失を計上するとともに、2011年8月12日に公表いたしました2012年6月期第2四半期累計期間(2011年7月1日～2011年12月31日)の業績予想値と、本日公表いたしました当該期間における実績値において、下記の通り差異が生じたのでお知らせいたします。

加えて、最近の業績動向を踏まえ、2011年8月12日に公表いたしました2012年6月期通期業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益・特別損失計上の内容

今般のタイ国における洪水により、バンコク郊外のバンガディ工業団地にある連結子会社 ASAHI INTECC THAILAND CO., LTD. (以下タイ工場)は、敷地及び建物、生産設備等において浸水被害を受け、現在も操業を停止し、復旧・復興作業に取り組んでおります。当該損害に対する災害保険金収入の一部504百万円を「災害保険金」として特別利益に計上するとともに、当該連結子会社の有形固定資産と棚卸資産の損失処理及び操業停止中の固定費等の総額1,156百万円を「災害による損失」として特別損失に計上しております。

なお、「災害保険金」及び「災害による損失」につきましては、全額ではなく、現在までに判明・確定しております一部分のみを計上しております。

2. 第2四半期累計期間の業績予想値と実績の差異(2011年7月1日～2011年12月31日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	8,310	1,560	1,559	1,127	71.10
今回実績(B)	7,899	1,741	1,728	609	38.46
増減額(B-A)	△410	+181	+168	△517	△32.64
増減率(%)	△4.9%	+11.6%	+10.8%	△45.9%	-
(ご参考)前年同期実績	7,930	1,809	1,714	1,306	82.41

(金額の単位：百万円)

3. 通期の業績予想数値の修正（2011年7月1日～2012年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想（A）	17,061	3,303	3,297	2,165	136.59
今回修正（B）	14,401	1,803	1,781	673	42.45
増減額（B－A）	△2,659	△1,500	△1,516	△1,492	△94.14
増減率（％）	△15.6％	△45.4％	△46.0％	△68.9％	-
（ご参考）前年同期実績	16,007	3,247	3,164	2,161	136.36

（金額の単位：百万円）

4. 業績予想値と実績の差異内容及び修正の理由について

<第2四半期累計期間の業績予想値と実績の差異内容について>

当社グループの当第2 四半期連結累計期間の業績は、営業利益・経常利益では2011年8月12日に公表いたしました業績予想を上回りましたが、上記「1. 特別利益・特別損失計上の内容」に記載の通り、タイ洪水に伴う「災害保険金」504百万円を特別利益に計上した一方、「災害による損失」1,156百万円を特別損失に計上したことなどにより、四半期純利益は従来予想を下回りました。

このような状況から、第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績の差異が生じております。

<通期の業績予想について>

一時的に稼働停止を余儀なくされております主力生産工場である連結子会社ASAHI INTECC THAILAND CO.,LTD.（以下タイ工場）では、2011年12月6日に排水作業が完了したものの、医療機器特有の高い品質管理基準を保全するための環境を整える復旧時間が一定期間必要であるため、現在も操業を停止し、復旧・復興作業に取り組んでおります。なお、安全確認が出来次第、操業を再開する予定で全社を挙げて対策を急いでおり、2012年2月下旬から一部の組み付け作業を再開し、同年4月には本格稼働を再開する予定でおります。

タイ工場が操業を再開できるまで、医療機器分野の製品につきましては、朝日インテック株式会社の瀬戸工場や大阪R&Dセンター、当社連結子会社ASAHI INTECC HANOI CO.,LTD.（ベトナム・ハノイ工場）を中心とし、タイ工場の主要従業員を一時的に受け入れるなどして代替生産を進めております。このようにグループ会社の総力を挙げて代替生産に注力しておりますが、代理店の安全在庫が充分にあり、末端市場への影響が生じない製品におきましては、当社グループから代理店への供給を調整するなどしており、取引の一時的な減少が生じます。また、産業機器分野の製品につきましては、タイ洪水の影響による生産停止に対し、同業他社の協力を得るなどし、供給確保に努めておりますが、供給が一時的に滞るなどするため、売上高の減少が見込まれます。このように、主に当第3四半期会計期間においては、従来予想より売上高が減少することが見込まれております。これらのマイナス影響を緩和すべく、販売費及び一般管理費などを中心に経費の圧縮などに努めておりますが、営業利益・経常利益は当初予想より減少することが見込まれます。また、特別利益及び特別損失については、当第2四半期連結累計期間において未確定であったタイ洪水による損害に対する「災害保険金」及び「災害による損失」の追加計上を予定しております。

つきましては、この業績予想は、復旧時期の変化、災害保険金の査定状況・入金タイミング、為替変動など諸条件の前提の変化によって、大きく変動する可能性があります。

また、当第3四半期及び当第4四半期の想定平均為替レートは近況を鑑み、対ドルでは従来82.50円から77.00円へ、タイバーツは2.70円から2.50円へ、対ユーロは110.00円から98.00円へ、円高方向に変更しております。

第2四半期連結累計期間の業績結果、及び第3四半期以降の上記状況を踏まえ、通期の業績予想を上表のとおり修正いたします。

通期の配当については、上記の通り今後の当期純利益の変動の可能性が高いため、年間34.10円の予想を据え置きとさせていただきます。

なお、今般のタイ洪水に伴う影響は、一時的なものであり、当社グループの中長期的な成長戦略に変更はありません。

※業績予想に関する留意事項

上記の予想値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報および合理的な仮定に基づいた推測を前提としております。従いまして、実際の業績は様々な要因により本資料に記載されたものと大きく異なる結果となる可能性があることにご留意ください。

以上